

工事情報を知って渋滞を避けたい！

(詳細)

通勤時のいつもの道がまさかの渋滞。想定を超えた時間がかかってしまう。あらかじめ分かれば別ルートから行けるはず！

受付番号	
------	--

地域課題解決マッチング事業

アイデア企画書

(一社) GIS支援センター

1 選択した地域課題

③工事情報を知って渋滞を避けたい

2 アイデアの内容

(一社)GIS支援センターの前身であるGIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会 支援グループで運用している道路工事調整システムを導入して、業務としてデータ入力を行う。

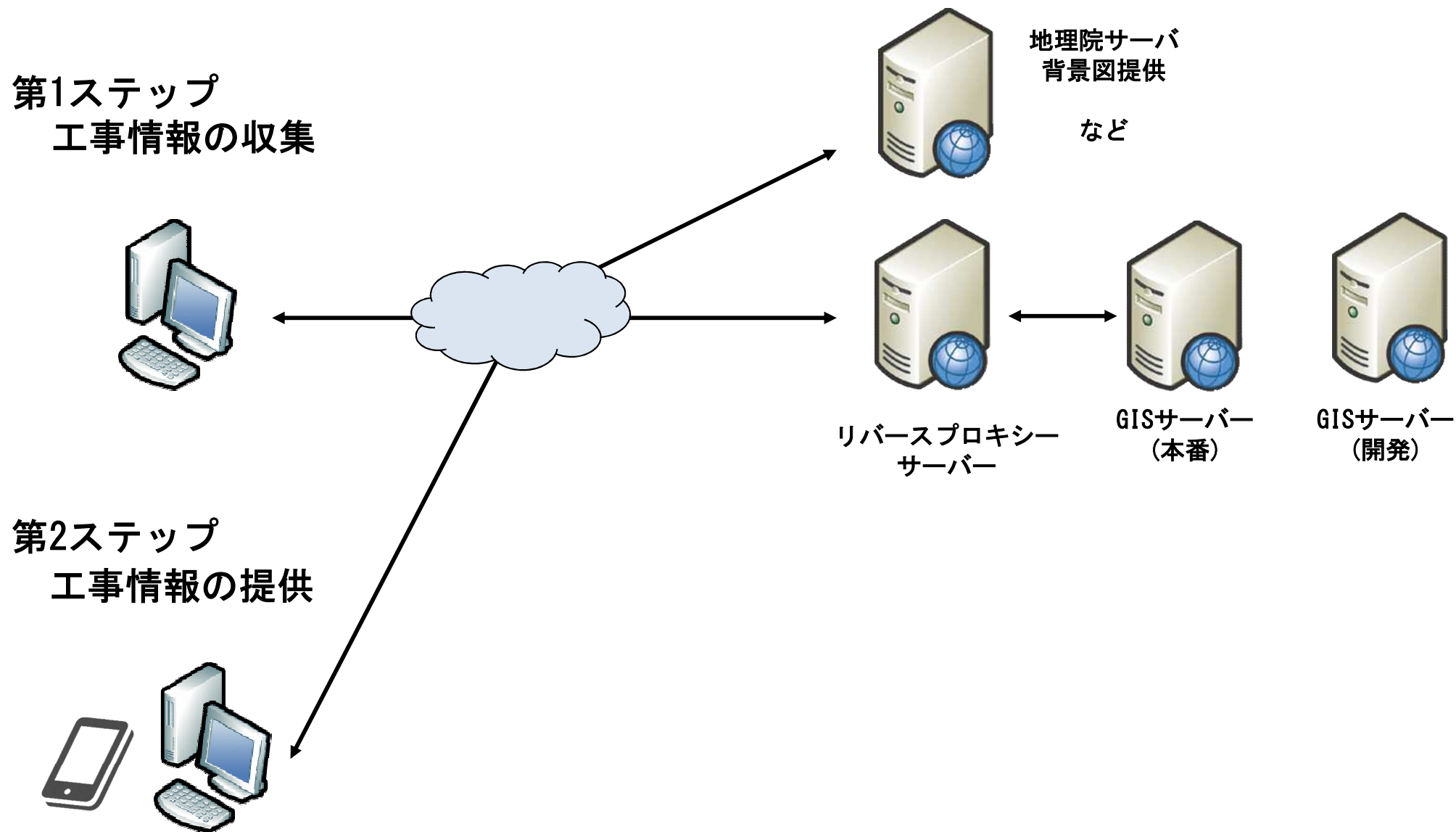
業務として入力されたデータを公開する。

(一社)GIS支援センターのTech担当による技術支援

2-1 アイデアの実現イメージ

- (1) 道路工事の調整会議をシステム化し、そのデータを公開する。
システムの実現のために、道路工事場所の入力を行う必要があるが、道路管理者、埋設物管理者には、追加の負荷が発生する。
そのため、実業務のデータを活用できるように、道路工事の調整会議をシステム化する。
 - ※ 金沢市では、道路占用許可申請の電子化が進んでいるので、申請データを活用するという方法も考えられる。
 - ※ 渋滞の原因を作る工事業務の対象を明らかにする必要がある。
- (2) 共同利用、共同開発による費用低減をおこなう。
大阪府下の自治体、公益企業で利用されているシステムの横展開を行い、費用低減を行う。
- (3) 協議期間を短くすることにより、工事期日を決かなものとする。
道路工事調整(地下埋調整など地域により呼び方が異なる)
- (4) 業務で入力された情報を公開する。
 - ※ 道路管理者との協議が発生する。

2-2 必要な環境



2-3 (一社)GIS支援センターのTech担当による技術支援

(1) (一社)GIS支援センターによる支援

20年近く、大阪府域で活動を行っているGIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議の支援活動を行ってきた組織の活動と成果を引き継ぎ、更なる官民連携の推進図るために設立された組織

<http://home.gis-sc.or.jp/index.html>

<https://www.gisnet.jp/portal/>

自治体OB、民間企業でのGIS技術者などから構成される組織

(2) GIS上級技術者による技術支援

(一社)GIS支援センターには、複数の上級技術者が在籍している。

GIS上級技術者は、(一社)地理情報システム学会が認定する資格制度

<http://www.gisa-japan.org/gisca/contents/gisplist>.

2-4 OSSの利用による開発・運用コストの低減

- (1) GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議のソフトウェア提供
協議会の支援グループが運用している環境（GIS支援センターに移行中）
を提供し、共同利用、共同開発を行うことが可能である。（要調整）
- (2) システム実行環境
OSS、フリーのソフトウェアを利用している。
下記のようなソフトウェアを利用している。



2-5 利用実績

道路工事調整会議システム

道路とライフラインに関する業務の電子化を実現

ハザード情報などが参照可能な背景地図に、公益企業が工事予定情報を入力し、各企業の入力完了後に系統的に競合データを抽出する。調整会議に協議対象箇所データの提供し、官民の業務の効率化を図っている。

構成

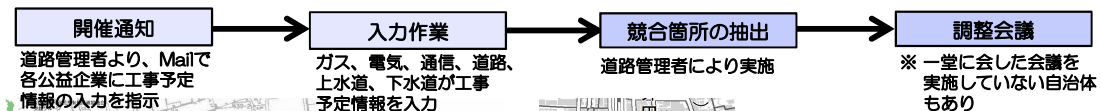
OSSを利用したWebMapシステム
 サーバ側 : GeoServer
 クライアント側 : Heron-MC

背景地図 : 地理院タイル
 ハザード情報 : 液状化、地すべり、浸水区域
 緊急輸送道路、都市圏活断層図、道路中心線、河川中心線、橋梁(大阪府)など

機能

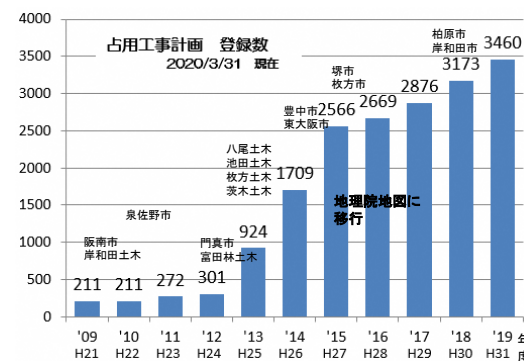
- 点、線、面の入力
- ハザード情報との重ね合わせ表示
- 競合データの抽出
- 競合データリスト(Excel)の出力

利用の流れ



(組織単位での利用のため、IDとPASSが必要で)

システムの利用実績



開発者 GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会
 (大阪府GIS官民協議会) 支援グループ
 問合せ先 (一社) 大阪府測量設計業協会
 E-mail oosakass@oak.ocn.ne.jp